

## 平成28年 年末訓示

平成28年の仕事納めにあたり、一言申し上げたいと思います。

この一年間、職員の皆さん、大変ご苦労様でございました。

今年は、国内情勢としては比較的落ち着いた年であったかと思いますが、海外では、トランプ次期大統領の誕生やイギリスのEU離脱といったセンセーショナルな話題も多かったと感じています。今までの常識や既成概念といったものが通用せず、人々が迷走し不安に感じている中で、世の中がますます深刻な状況に陥ってしまっているように思われます。私達も社会の情勢や村内の空気感といったものを敏感に感じ取りながら、職務に精励していくことが必要ではないかと思えます。

年の瀬を迎え、今年の十大ニュースという特集が目立ちますが、オリンピックで日本人が活躍したことで、明るい話題が目立った年であったかと思えます。中でも、本村出身の吉村選手の銀メダル獲得は、改めて、村民に誇りと感動を与えてくれる快挙でありました。是非、ご本人に来村頂き、村民栄誉賞を授与したいと切望しております。一方で、自然災害の脅威は今年も多くの被害をもたらしました。熊本や鳥取の地震災害、北海道や東北での台風災害などで、今なお不自由な生活を余儀なくされている方々の一日も早い復旧・復興を願うものであります。本村においても、集中豪雨により冠水被害が生じたところであり、自然災害への備えを強化していかなければならないと感じております。

役場の仕事を振り返ってみますと、今年は、「第5次総合計画後期基本計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などが実質スタートしたところでありますので、計画の実効性が問われるのではと考えております。

特に、「原子力人材育成・確保」については、これまでの村の施策にはない新たな取り組みということで、担当課も大変苦労したのではないのでしょうか。手探り状態の中で、一つひとつ事業を進め、一定の成果も現れたのではないかと思いますので、来年に向けて更なる事業の推進を期待しているところであります。

子育て支援につきましても、喫緊の課題である待機児童解消に向けた取り組みや病児保育等の新たなニーズへの対応も方向性が定められたのではないかと考えております。そうした中で、学童クラブの民間事業者委託は、大きな転換でしたが、スムーズに移行できました。これも、担当課の丁寧な対応が実を結んだものと思えます。

自治会関連業務につきましても、「協働」の考え方に基づく新たな協定の締結や一括交付金化など、各地域の主体的なまちづくりを推進する大きな一歩を踏

み出せたのではないかと感じております。しかしながら、まだ十分に理解されていないところもありますので、今後とも、更なる地域自治の推進に向けて丁寧に進めていかなければなりません。粘り強く進めてください。

農業政策におきましては、「農業振興計画」策定後の初年度ということで、新規就農者育成やほしいものブランド化などに取り組んでおりますが、成果が表れるまでにはもう少し時間がかかるとお思いますので、引き続き、関係者と連携しながら事業の推進を図ってみたいと考えております。期待しています。

区画整理事業におきましては、村で初めての直接施行を実施いたしました。当日の執行はもとより、その前からの準備行為も含め、担当課においては細心の注意を払いながら、着実に完了させることができました。改めて、担当課の職員を労りたいと思います。私は、住民サービスを丁寧に行うことは基本であると考えておりますが、時には、毅然とした対応も取っていかねばならないと考えておりますので、共に考えながら対処していきましょう。

中丸小学校の新校舎は、3月に竣工し、外構工事も6月には終了し、やっと子供達に喜んでもらえる学習環境を整えることが出来ました。本当に良かったと思います。担当課の皆さん、ご苦労様でした。一方、「(仮称)歴史と未来の交流館」建設事業については、何とか基本設計の着手まで進めることができましたが、まだまだ村民の皆様のご理解という点では足りない部分も多いと感じております。今後とも、必要に応じて説明責任を果たしていきながら、村民の皆様にご喜んでいただける施設整備に努めてまいりましょう。

これら以外にも、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話しすることはできませんが、全体としては、着実に事業を推進できたものと感じております。

また、「公共施設等総合管理計画の策定」、「シティプロモーションの推進」、「広域避難計画の策定」、「国体関連事業の推進」、「阿漕ヶ浦周辺地域の活性化計画の検討」、「空き家対策の推進」などは、現在も引き続き事業の進捗が図られていると思いますが、今年度末までに目標としているレベルまで達成できるよう更なる奮闘を期待しております。

今年も限られた職員の中で、業務量は多く負担も大きかったと思いますが、皆さんには、それぞれの職場で真摯に職務に精励して頂きました。改めて、ご苦労様でしたと申し上げたいと思います。私は、出張も多く、個別の案件について議論する時間が足りなかったかなと反省しておりますが、かと言って役場内の膨大な事務を全てコントロールすることはできません。やはり、部課長を中心に、組織内での議論を活発に行い、関係者との調整にも十分配慮しながら、仕事を進めてもらえればと考えているところであります。

今年の年末年始は6日間ですが、しっかりとリフレッシュしてください。そして、いつも申し上げておりますが、家族との団欒も是非大切にして、有意義に過ごしていただければと思います。

ただし、危機管理対応の意識だけは忘れずに、各職場においては、初動対応等を確認しておいてください。災害がなく、年明けを迎えたいものです。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明け4日には、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

以上を持ちまして、年末の訓示といたします。

皆さん、良い年をお迎えください。